

全 国 銀 行 概 況

（特定取引勘定設置銀行 20 行）

1. 損 益 状 況

（※ 主な項目については表 1・2 を参照）

（表 1）損益状況

（単位：億円、％）

	全 国 銀 行 (107行)		
	2025年度	前年度比増減額	増 減 率
業務粗利益	137,480	20,032	17.1
国内業務粗利益	97,413	9,411	10.7
資金利益	84,295	14,178	20.2
役務取引等利益	24,942	2,679	12.0
特定取引利益	1,160	297	34.5
その他業務利益	△ 12,984	△ 7,744	－
国際業務粗利益	40,067	10,621	36.1
資金利益	23,244	2,035	9.6
役務取引等利益	10,181	1,322	14.9
特定取引利益	2,128	△ 3,154	△ 59.7
その他業務利益	4,514	10,418	－
経費（△）	78,905	6,283	8.7
人件費（△）	33,885	1,930	6.0
物件費（△）	39,986	3,796	10.5
税金（△）	5,032	557	12.4
実質業務純益	58,642	13,768	30.7
うち国債等債券関係損益	△ 16,888	451	－
コア業務純益	75,530	13,317	21.4
除く投資信託解約損益	73,801	14,064	23.5
一般貸倒引当金繰入額（△）	251	△ 811	△ 76.3
業務純益	58,324	14,559	33.3
臨時損益	23,012	5,692	32.9
個別貸倒引当金繰入額（△）	4,066	1,877	85.8
貸出金償却（△）	1,170	85	7.8
株式等関係損益	26,111	8,330	46.8
貸倒引当金戻入益	275	△ 2,316	△ 89.4
償却債権取立益	701	△ 27	△ 3.7
その他	1,161	1,667	－
経常利益	81,281	20,221	33.1
特別損益	401	△ 75	△ 15.8
税引前当期純利益	81,682	20,146	32.7
法人税、住民税及び事業税（△）	24,087	9,003	59.7
国際最低課税額に対する法人税等	－	－	－
法人税等調整額（△）	△ 2,700	△ 3,587	－
当期純利益	60,295	14,729	32.3

（注）業 務 粗 利 益 ＝ 資金利益＋役務取引等利益＋特定取引利益＋その他業務利益
 資 金 利 益 ＝ 資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用）
 役務取引等利益 ＝ 役務取引等収益－役務取引等費用
 特定取引利益 ＝ 特定取引収益－特定取引費用
 その他業務利益 ＝ その他業務収益－その他業務費用
 実 質 業 務 純 益 ＝ 業務粗利益－経費等
 コア業務純益 ＝ 実質業務純益－国債等債券関係損益
 コア業務純益（除く投資信託解約損益） ＝ コア業務純益－投資信託解約損益
 業 務 純 益 ＝ 業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

（以下は、銀行単体をベースに取りまとめたものである。）

(1) 業務粗利益

業務粗利益は、13 兆 7,480 億円（前年度比 2 兆 32 億円、17.1%増）と増益となった。その内訳を概観すると、以下のとおりである。

① 資金利益

資金利益は、10 兆 7,539 億円（前年度比 1 兆 6,213 億円、17.8%増）と増加した。

うち、国内業務部門においては、8 兆 4,295 億円（前年度比 1 兆 4,178 億円、20.2%増）と増加した。内訳をみると、資金運用収益は、貸付金利息が 7 兆 2,402 億円（同 1 兆 7,959 億円、33.0%増）と増加したこと等により、11 兆 4,666 億円（同 3 兆 3,315 億円、41.0%増）と増加した。また、資金調達費用は、預金利回りの上昇等を要因とする預金利息の増加等により、3 兆 414 億円（同 1 兆 9,165 億円、170.4%増）と大幅に増加した。

国際業務部門においては、2 兆 3,244 億円（前年度比 2,035 億円、9.6%増）と増加した。内訳をみると、資金運用収益は、貸付金利息や預け金利息が減少したこと等により、14 兆 9,680 億円（同 1 兆 700 億円、6.7%減）と減少した。また、資金調達費用は、預金利息や譲渡性預金利息が減少したこと等により、12 兆 6,447 億円（同 1 兆 2,733 億円、9.1%減）と減少した。

② 役務取引等利益

役務取引等利益は、国内業務部門において、2 兆 4,942 億円（前年度比 2,679 億円、12.0%増）と増加するとともに、国際業務部門においても、1 兆 181 億円（同 1,322 億円、14.9%増）と増加したことから、全体では 3 兆 5,123 億円（同 4,001 億円、12.9%増）と増加した。

③ 特定取引利益

トレーディング業務に係る**特定取引利益**は、国際業務部門において特定金融派生商品収益が減少したこと等により、全体では 3,288 億円（前年度比 2,857 億円、46.5%減）と減少した。

④ その他業務利益

その他業務利益は、△8,470 億円と損失超過額が減少した（前年度は 1 兆 1,145 億円の損失超過）。

国内業務部門においては、国債等債券売却損が大幅に増加したこと等により△1 兆 2,984 億円と損失超過額が増加した（前年度は 5,240 億円の損失超過）。

国際業務部門においては、国債等債券売却損が減少したこと等により 4,514 億円と損失超過から収益超過に転じた（前年度は 5,905 億円の損失超過）。

(2) 実質業務純益

実質業務純益は、5 兆 8,642 億円（前年度比 1 兆 3,768 億円、30.7%増）と増益となった。経費が増加したことから、上記(1)の業務粗利益よりも増益幅が縮小した。なお、コア業務純益は 7 兆 5,530 億円（同 1 兆 3,317 億円、21.4%増）、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は 7 兆 3,801 億円（同 1 兆 4,064 億円、23.5%増）となった。

(3) 経常利益

経常利益は、株式等関係損益の収益超過額の増加等から、上記(2)の実質業務純益よりも増益幅が拡大し、8 兆 1,281 億円（前年度比 2 兆 221 億円、33.1%増）となった（増益 93 行、減益 9 行、黒字転換 2 行、経常損失 2 行）。

(4) 当期純利益

当期純利益は、6 兆 295 億円（前年度比 1 兆 4,729 億円、32.3%増）と増益となった（増益 92 行、減益 10 行、黒字転換 2 行、純損失 2 行）。

(5) 利回り・利鞘（国内業務部門）

貸出金利回りが 1.24%（前年度比 0.27%ポイント上昇）となったほか、有価証券利回りが 1.34%（同 0.29%ポイント上昇）となり、資金運用利回りは 1.06%（同 0.31%ポイント上昇）となった。預金債券等原価および資金調達原価は、それぞれ、0.88%（同 0.20%ポイント上昇）、0.84%（同 0.21%ポイント上昇）となった。これにより、預貸金利鞘は 0.36%（同 0.07%ポイント上昇）となり、総資金利鞘は 0.22%（同 0.10%ポイント上昇）となった。

国内業務部門の**利回り・利鞘**の推移および計算式等については、「付属表」の第 28 表を参照。

（注）（3）経常利益および（4）当期純利益における増減益等の銀行数は、当年度に合併した銀行の計数を含めていないため、106 行となり、表 1 の銀行数（107 行）と一致しない。

（表 2）資金利益の内訳

（単位：億円、%）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2025年度	前年度比 増 減 額	増減率	2025年度	前年度比 増 減 額	増減率	2025年度	前年度比 増 減 額	増減率
資 金 運 用 収 益	261,755	20,889	8.7	114,666	33,315	41.0	149,680	△ 10,700	△ 6.7
貸 付 金 利 息	146,565	11,187	8.3	72,402	17,959	33.0	74,163	△ 6,772	△ 8.4
手 形 割 引 料	75	△ 31	△ 29.1	75	△ 7	△ 7.9	-	△ 25	△ 100.0
有価証券利息配当金	61,968	5,512	9.8	22,466	4,937	28.2	39,501	575	1.5
コールローン利息	1,835	△ 186	△ 9.2	521	316	154.5	1,314	△ 502	△ 27.6
預 け 金 利 息	33,369	6,135	22.5	15,021	7,778	107.4	18,347	△ 1,643	△ 8.2
そ の 他	17,942	△ 1,729	△ 8.8	4,180	2,330	126.0	16,355	△ 2,333	△ 12.5
資 金 調 達 費 用	154,269	4,706	3.1	30,414	19,165	170.4	126,447	△ 12,733	△ 9.1
預 金 利 息	65,509	8,180	14.3	20,100	13,828	220.5	45,409	△ 5,648	△ 11.1
譲 渡 性 預 金 利 息	20,608	△ 916	△ 4.3	1,465	1,034	240.2	19,143	△ 1,950	△ 9.2
コールマネー利息	1,721	402	30.5	906	587	183.5	815	△ 184	△ 18.4
借 用 金 利 息	14,790	1,261	9.3	3,802	1,486	64.2	10,988	△ 225	△ 2.0
社 債 利 息	2,167	242	12.5	163	9	6.0	2,004	232	13.1
そ の 他	49,475	△ 4,463	△ 8.3	3,978	2,221	126.4	48,088	△ 4,958	△ 9.3
資 金 利 益	107,539	16,213	17.8	84,295	14,178	20.2	23,244	2,035	9.6

（注）資金利益 = 資金運用収益 - （資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用）

2. 主 要 勘 定

（※ 資金調達・資金運用の主な項目については表 3 を参照）

(1) 資金調達（末残）

預金は、国内業務部門および国際業務部門ともに増加し、1,084 兆 6,812 億円（前年度末比 40 兆 1,098 億円、3.8%増）と増加した。

(2) 資金運用（末残）

貸出金は、国内業務部門および国際業務部門ともに増加したことから、758 兆 2,825 億円（前年度末比 43 兆 3,765 億円、6.1%増）と増加した。

有価証券は、国内業務部門において減少したものの、国際業務部門において増加したことから、284 兆

484 億円（前年度末比 8 兆 5,048 億円、3.1%増）と増加した。

銀行法及び再生法に基づく債権（銀行勘定の単体ベース）については、「付属表」の第 6 表を、**その他主要資産残高**については、「付属表」の第 2 表を参照。

（3）純資産勘定

地方銀行 2 行、第二地銀協地銀 1 行、信託銀行 1 行、その他 1 行で増資が行われたほか、銀行の合併があったことから、資本金は 9 兆 7,684 億円（前年度末比 540 億円、0.6%増）となった。

純資産勘定の推移については、「付属表」の第 12 表を参照。

国内業務部門＝国内店の円建取引

国際業務部門＝国内店の外貨建取引＋海外店の取引

（円建対非居住者取引とオフショア勘定は国際業務に含む）

（表 3）主要勘定の内訳（末残）

（単位：億円、%）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2025年度末	前年度末 比増減額	増減率	2025年度末	前年度末 比増減額	増減率	2025年度末	前年度末 比増減額	増減率
預 金	10,846,812	401,098	3.8	9,342,941	192,499	2.1	1,503,870	208,598	16.1
譲渡性預金	702,478	△22,256	△ 3.1	252,739	2,253	0.9	449,739	△24,509	△ 5.2
貸 出 金	7,582,825	433,765	6.1	6,011,715	257,882	4.5	1,571,109	175,882	12.6
有 価 証 券	2,840,484	85,048	3.1	1,760,890	△23,746	△ 1.3	1,079,592	108,794	11.2
国 債	890,916	12,630	1.4	870,438	12,356	1.4	20,478	274	1.4
地 方 債	215,420	△27,764	△ 11.4	215,420	△27,764	△ 11.4	－	－	－
社 債	202,965	△31,922	△ 13.6	202,965	△31,922	△ 13.6	－	－	－
株 式	243,159	26,627	12.3	243,159	26,627	12.3	－	－	－
そ の 他	1,288,020	105,478	8.9	228,906	△3,042	△ 1.3	1,059,114	108,520	11.4